

公営企業会計 の収入と支出 のあらまし

企業会計で行う病院事業と水道事業は、市民の皆さんからいただいている診療代金や水道料金を主な財源として運営しています。どちらも、市民生活にかかすことのできない事業です。企業会計は、「収益的収支」と「資本的収支」の二つに分かれており、「収益的収支」は、日常の経営に要する収支、「資本的収支」は、施設の建設や改良などに要する収支となっています。平成二十六年年度予算の収益的収支では、会計制度が改正され、退職給付引当金などの計上義務付けられたことなどにより、大幅な赤字予算となっています。収益的収支の支出では、減価償却費など現金支出の伴わない費用があることから、支出が多い場合でも、即資金に不足が生じるものではありません。一方、資本的収支で支出が多い場合は、過去に収益的収支で蓄えられている資金（過年度分損益勘定留保資金）などで補てんされます。

病院事業会計

【収益的収支】

収入	当初予算額	構成比
医業収益	165億6008万円	83.0%
医業外収益	26億8767万円	13.5%
特別利益	6億9475万円	3.5%
病院事業収益	199億4250万円	100.0%

支出	当初予算額	構成比
医業費用	187億6917万円	77.9%
医業外費用	4億4208万円	1.8%
特別損失	48億8585万円	20.3%
予備費	1000万円	0.0%
病院事業費用	241億710万円	100.0%

【資本的収支】

収入	当初予算額	構成比
企業債	6億4650万円	48.0%
他会計出資金	4920万円	3.7%
負担金交付金	5億4721万円	40.6%
他会計補助金	1億382万円	7.7%
長期貸付金返還金	0万円	0.0%
固定資産売却代金	0万円	0.0%
資本的収入	13億4673万円	100.0%

支出	当初予算額	構成比
建設改良費	9億4399万円	42.9%
企業債償還金	12億595万円	54.8%
投資	3960万円	1.8%
予備費	1000万円	0.5%
資本的支出	21億9954万円	100.0%

水道事業会計

【収益的収支】

収入	当初予算額	構成比
営業収益	36億3194万円	95.2%
営業外収益	1億8508万円	4.8%
特別利益	0万円	0%
水道事業収益	38億1702万円	100.0%

支出	当初予算額	構成比
営業費用	34億7784万円	81.0%
営業外費用	2億5798万円	6.0%
特別損失	5億4024万円	12.6%
予備費	2000万円	0.4%
水道事業費用	42億9606万円	100.0%

【資本的収支】

収入	当初予算額	構成比
企業債	2億2420万円	33.8%
補助金	5402万円	8.1%
負担金	3863万円	5.8%
他会計負担金	907万円	1.4%
出資金	3750万円	5.7%
固定資産売却代金	0万円	0%
その他資本的収入	2億9988万円	45.2%
資本的収入	6億6330万円	100.0%

支出	当初予算額	構成比
建設改良費	10億397万円	67.6%
企業債償還金	3億7020万円	25.0%
投資	1億0万円	6.7%
予備費	1000万円	0.7%
資本的支出	14億8417万円	100.0%

※数値などは表示単位による端数調整を行っています。

ササニシキ系新品種米「東北194号」の愛称決定

「むすび結」

昨年十一月、新品種米「東北194号」の愛称を募集しました。皆さんから多数の応募をいただき、愛称が決定しましたのでお知らせします。

農林振興課農業経営係 ☎7090



「命名賞」受賞者
田尻地域 高石清子さん

「むすび結」が、全国の皆さんに幅広く知っていただけることを願っています。ぜひ、自分も栽培してみようと思います。



大崎寿司業組合
組合長 千葉君夫さん

「むすび結」の香り、つや、歯応え、粒の大きさは、まさにササニシキに近く、お寿司や和食にぴったりなお米です。

生誕五十周年を迎えたササニシキの食べ飽きない味を受け継ぎ、冷害に強いなどひとめぼれの栽培のしやすさを追求した、新品種米「東北194号」が発売された。

その結果、田尻地域在住の高石清子さんが応募した「むすび結」に愛称が決定しました。見事、命名賞を受賞した高石さんには、副賞として「むすび結」三十キが贈呈されました。

市では、親しみやすい名前でお米の普及推進を図るため、愛称を募集しました。

今後、このお米は、県と連携しながら、平成二十六年に試験栽培が行われ、平成二十七年から一般作付けが可能となり、本格的な栽培が始まる予定です。

関係機関で組織された「大

大崎生まれの「ササニシキ」と「ひとめぼれ」が結ばれ、粘りを抑えたあつさり、ふっくら食感の、さわやかなお米「東北194号」が生まれました。特に、お寿司などの和食に最適なこのお米に愛称を「むすび結」と名付けました。

「むすび結」に込めたストーリー、思い

大崎生まれの「ササニシキ」と「ひとめぼれ」が結ばれ、粘りを抑えたあつさり、ふっくら食感の、さわやかなお米「東北194号」が生まれました。特に、お寿司などの和食に最適なこのお米に愛称を「むすび結」と名付けました。

「むすび結」は、農家と料理人、そして大崎と世界を結ぶ、「お米の聖地大崎」の復興のシンボル米です。